



## ベーゼンドルファー・ジャパン

### 本社とショールーム開業



☎164-8721 東京都中野区本町1-32-2  
ハーモニータワー1F ☎03-6681-5189

ベーゼンドルファー・ジャパン（内山武彦社長）の本社及びショールームの開業式が、五月二日午後四時から開かれた。

同社は、青梅街道と山手通りが交差する中野坂上の角地に建つ「ハーモニータワービルの一階（旧日本ベーゼンドルファー東京ショールーム跡）」に開設され、地下鉄の丸の内線中野坂上駅からは、地下通路を通れば徒歩二分程と極めて至近距離にある。

美しい木材を多用したウッドテイで落ち着いた雰囲気のリゾート感には、九十七鍵のモデル290インペリアルを始め、モデル280などのグランドピアノを七台、更にアップライトピアノを一台展示している。

当日は来賓として、在日オーストリア大使館からユッタ・ステファン・バスター大使をはじめ、オーストリア航空のゲオルク・イーリツヒマンら十人以上が列席。

またヤマハからは岡部比呂男常務取締役、黒江常夫常務取締役、加藤政人執行役員事業企画室長、葉山和雄国内営業本部副本部長、

福留齋ピアノ事業部営業部部長、二木勉国内営業本部ピアノ企画部部長、またベーゼンドルファーのオーストリア本社からはアンドレアス・カウフマン・セルディレクターが出席。そしてピアノニストの居福健太郎、瀬川玄の両氏が演奏を披露してオープニングに華を添えた。

内山社長は「国内プレミアムピアノ市場で安定経営を目指すと同時にヤマハ、ベーゼンドルファー双方のブランドイメージの向上に寄与したい」と挨拶。

また岡部常務は、「ベーゼンドルファー社は百八十年の歴史を有する老舗で、世界中にファンを持つています。ベーゼンドルファーの伝統を将来に向けても継承しつつ、更に向上を図りたい」と意欲を表明した。

また、バスター大使は、「ベーゼンドルファーは、長年ウィーンの人々に愛されてきた存在。本来売買される企業ではないが、過去様々なオーナーが受け継いできたことは事実。今回ヤマハの傘下に入ったが、ヤマハ自体百有余年の

歴史を有する楽器メーカーであり、同社の企業力を考えると、両社の関係は理想的な結婚と思っっている」とベーゼンドルファーの新たなスタートを祝福した。

### 新屋新社長として 砂田浩孝副社長昇格

音楽・映像ソフト販売の新屋堂は五月八日、砂田浩孝副社長執行役員が同二十九日付で社長に就任する人事を発表した。

宮崎正紀社長ら創業者一族の三人の取締役は退任。所有する同社株発行済み株式総数の約二〇％も全て手放す。同社は二〇〇八年二期期の連結最終損益が、三期連続で赤字を計上。新体制での事業の建て直しを目指す。

### ▲人事異動

▲ヤマハ (五月一日付)  
・ヤマハ・ミュージック・インディア社長※1 久米幸三郎  
・ヤマハ・ミュージック・セントラル・ヨーロッパ社長※2

・ヤマハ・ミュージック・フランス社長※3 Bernard Weil  
※1ヤマハ・ミュージック・インディアを設立する。※2ヤマハ・エレクトロニクス・ヨーロッパをヤマハ・ミュージック・セントラ

ル・ヨーロッパに吸収合併する。  
※3ヤマハ・エレクトロニクス・フランスをヤマハ・ミュージック・フランスに吸収合併する。

▲河合楽器製作所  
・取締役兼 上席執行役員国内営業本部長 大窪素雄  
・監査役 高木和  
・執行役員 国内営業本部中部支



京都市今熊野児童館 (2008年2月)

京都女子大学児童学科の学生のうち、中学・高校での吹奏楽経験者の有志が中心となって「音楽隊」を結成。一期生六名、二期生十八名が授業の合間を縫って地域の児童館や幼稚園などへ訪問演奏を行っている（昨年度は十二会場で実施）。学外での演奏は音大生も行うが、音楽隊は幼児・小学生相手の手遊びや音楽ゲームなどを取り混ぜられるのが強み。

池田達信氏（宮崎県／西村楽器社長）は、五月十九日逝去された。享年六十歳。葬儀はふじもとアルテ高洲において、喪主知穂夫人のもとしめやかに執り行われた。

ケートなどで保護者から「子どもに音楽を聴かせたいが、本格的な演奏会には行きづらい」との声があり、主催者である児童館からも「予算面でプロ奏者への依頼は非常に難しい。来館者の数が読めないため大がかりなイベントの企画自体が困難」との事情を知らされたことから双方の要望に極力沿う形で音楽会作りを目指している。一会場は五十名で訪問、主催者が同大学から会場までの交通費と運搬費などを負担する。

フルート、クラリネット、オーボエ、トランペット、サクソフォーン、ホルン、ユーフォニウムなど管楽器は全て個人持ちだが、打楽器、鍵盤ハーモニカ、電子キーボード、エレキトーン STAGEA などは大学の備品。楽器の編成やアレンジについては同大学の深見友紀子教授がアドバイザー。これまでの音楽隊の活動は深見教授のHPで紹介されている（www.ongakuyouiku.com/kyotowu/ongakutai/）。ほか、活動記録のDVDを京都市内の児童館に先頃配布したところ、早くも今年のクリスマス公演の申込が殺到している。（森）